

Shinshu University 2016

School of Medicine

School of Health Sciences

信州大学医学部 医学科・保健学科入学案内 2016



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

医学部
医学科・保健学科



目次

index

信州大学医学部の理念	1
学部長挨拶	2
沿革	2
キャンパスの紹介	3
福利厚生施設の紹介	4
年間行事	5
学生生活の案内	6
教育・研究組織	7
医学部医学科	8
カリキュラム	9
医学教育センター	10
基礎医学教育	11
臨床医学教育	13
卒業後の進路について	15
卒後臨床研修センター	15
信州医師確保総合支援センター	
信州大学医学部分室	16
医学部附属病院	17
先端医療への取り組み	17
入試について	18
医学部保健学科	20
看護学専攻	21
検査技術科学専攻	23
理学療法学専攻	25
作業療法学専攻	27
学生の声	29
入試について	31
松本においてよ！	34

信州大学医学部の理念

信州大学医学部は、医学及び医療に関する分野の高度な研究を行うとともに、豊かな人間性と広い学問的視野を持ち、柔軟な思考力及び洞察力並びに問題を自発的に発見し解決する能力を身につけた医師及び医学研究者並びに医療技術者及び医療研究者を育成し、医学及び医療研究並びに医療活動における国際貢献を果たし、地域医療の発展に寄与することを目的とする。（信州大学医学部規程第1条）



信州大学医学部長 池田修一

信州大学医学部の各学科、各専攻を卒業すると、医師、看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士などの医療専門職の国家試験の受験資格を得ることができます。しかし、本学では、単に医療職の国家資格を得るためだけの教育を行っているわけではありません。医療人を養成するための教育には、知識レベル、技術レベル、態度レベルの3つの要素が必要です。通常、知識レベルは講義と試験、技術レベルは実習により学生に力を付けていただくことができますが、難しいのは医療人にふさわしい人格を育成して身に付ける態度レベルの教育です。

信州大学医学部では、恵まれた自然環境の中で、長野県内の医療機関の全面的な協力を得て、医療者となるのにふさわしい人格形成を可能とする充実した教育カリキュラムを医学科、保健学科ともに用意しております。

医学科で行われているいくつかの特色ある教育の取り組みをご紹介します。1年生では「早期体験実習（老健施設や障害者施設に赴き高齢者や障害者をもつ方へのケアを体験する）」、「新入生ゼミナール（医学科と保健学科の学生が合同で行うグループワークで、チーム医療の重要性を学ぶ）」、2年生では「外来患者体験実習（附属病院への来院者に付き添い診療の流れを把握するとともに患者さんの気持ちを知る）」、「看護体験実習（附属病院の病棟に配属され、日勤および夜勤の看護師の業務を観察する）」、3年生では「遺伝カウンセリングロールプレイ実習（医療者の発言が、患者・家族にどのような影響を与えるかについて考える）」などがあり、知識レベルだけではなく全人的な医学教育を実践しています。その他にも、「生命誕生の喜び体験実習」や「子育て体験・乳児発達観察実習」など、多彩な体験学習コースが用意されております。4年生後期になり、臨床実習が始まる際には「白衣授与式」を行い、いよいよ直接、患者さんから学ぶことができるようになることを祝福するとともに、患者さんに対する望ましい態度のあり方について再考を促しております。5年生の臨床実習では、さまざまなシミュレーターを用いて基本的診療手技を身につけ、6年生の選択臨床実習では、学外教育病院の指導医の協力を得て、チーム医療に参加し、学生に許容されている医行為を積極的に行うことにより、高い診療手技を修得することができます。優秀な医療人として育つためには、知識・技術だけではなく、十分なコミュニケーション能力を身につけ、高い倫理観を養うとともに、組織の中の一員としての連帯感を持つことが必要です。信州大学ではこれらの力を伸ばすことができるように、下級生—上級生—教員間で十分な意見交換を可能とする縦割り担任制度を導入しています。また、体育系・文化系などさまざまな部活動を支援しております。さらに、進級判定を厳格に行い、各学年に要求される学力がついていることを確認することにより、知識・技術・態度の3要素全てに秀でた医療人を育成しています。

保健学科には看護学専攻（看護師、保健師、助産師）、検査技術科学専攻（臨床検査技師）、理学療法学専攻（理学療法士）、作業療法学専攻（作業療法士）の4つの専攻があり、それぞれの国家試験受験資格を得ることのできる教育課程を設けています。日々目覚ましく進歩・発展する医療科学技術を理解し、それを実践できる能力を身につけることを目標に、講義、演習、実習等が数多く展開されております。また専門的な知識や技術の習得だけでなく、入学後医学科と合同で行われる新入生ゼミナールや希望者対象に行われるオーストラリアCurtin大学での海外研修などを通じて、コミュニケーション能力や国際的視野を身につけることも目標としています。

信州大学医学部では、以上に述べた厳しくも温かい教育カリキュラムを通じて、誇り高い医療人となり、社会に貢献したいと強く願う実直かつ優秀な若者に入学していただきたいと考えています。

沿革

昭和 19 年	松本医学専門学校設置	平成 15 年	大学院医学研究科の 5 専攻を医学系専攻（博士課程）に改組
昭和 20 年	市立松本病院を松本医学専門学校附属医院として移管、同時に看護婦講習所を移管		加齢適応医科学系専攻（独立専攻・博士課程）設置
昭和 23 年	松本医科大学設置		医学教育センター設置
昭和 24 年	国立学校設置法の施行により信州大学設置	平成 16 年	国立大学法人信州大学発足
昭和 26 年	医学部医学科設置が認可 附属甲種看護婦養成所を医学部附属看護学校に改称		附属病院卒後臨床研修センター設置 医学部知的財産活用センター設置
昭和 30 年	医学進学課程設置	平成 17 年	附属病院先端医療推進センター設置
昭和 33 年	大学院医学研究科（博士課程）設置	平成 19 年	大学院医学研究科を大学院医学系研究科と改め、保健学専攻（修士課程）設置 高度救命救急センター設置
昭和 38 年	医学部附属助産婦学校設置	平成 21 年	大学院医学系研究科に保健学専攻（博士後期課程）を設置するとともに、保健学専攻（修士課程）を保健学専攻（博士前期課程）に名称変更
昭和 39 年	医学部附属順応医学研究施設設置	平成 22 年	小児環境保健疫学研究センター設置
昭和 41 年	医学部附属衛生検査技師学校設置	平成 23 年	メディカルシーズ推進室設置
昭和 47 年	医学部附属衛生検査技師学校を附属臨床検査技師学校に改組	平成 24 年	大学院医学系研究科を医科学専攻（修士課程）、医学系専攻（博士課程）、疾患予防医科学系専攻（独立専攻・博士課程）、保健学専攻（博士前期課程・博士後期課程）に改組
昭和 49 年	医療技術短期大学部設置	平成 25 年	医学部アミロイドーシス研究・診断・治療センター設置
昭和 59 年	医学部附属順応医学研究施設を附属心脈管病研究施設に転換	平成 26 年	「講座」を医学科では「教室」、保健学科では「領域」に改称
平成 6 年	医学部附属心脈管病研究施設を廃止し医学部附属加齢適応研究センター設置		
平成 12 年	大学院医学研究科臓器移植細胞工学医科学系専攻（独立専攻・博士課程）設置		
平成 14 年	大学院医学研究科医科学専攻（修士課程）設置 医療技術短期大学部を改組し、保健学科設置		

キャンパスの紹介

医学部医学科及び保健学科学生の学ぶ松本キャンパスは松本市の北東に位置し、ここに国立大学法人信州大学本部をはじめ、人文学部、経済学部、理学部、医学部、医学部附属病院、全学教育機構、総合健康安全センター、附属図書館医学部図書館、附属図書館中央図書館などの建物が配置されています。



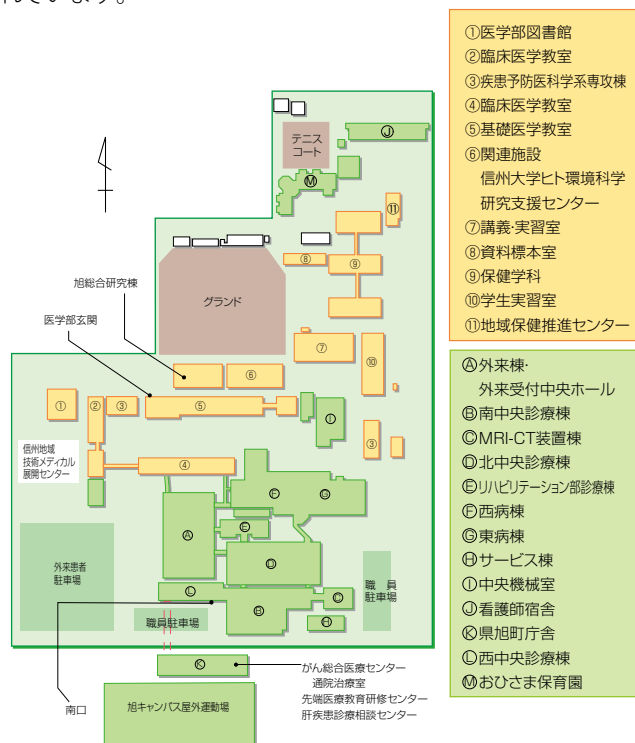
医学部正面玄関

松本キャンパスのある松本市は西に日本アルプス、東に美ヶ原高原などが位置する大自然の懐にある城下町で、勉学に、スポーツに、また、人間形成の場としても絶好の環境の中にあります。松本キャンパスでは、学部によらず、1年生全員がこのキャンパスで教養科目と基礎科目を学習しますので、他学部の学生との交流を図るよい機会にもなります。

松本キャンパス内には医学科及び保健学科の建物はもとより、医学部附属病院、附属図書館医学部図書館などがあります。医学部は長野県内における医学教育研究の中心的存在として、高い評価を得ています。附属病院は県内に存在する唯一の大学医学部附属病院として、高度救命救急センター、先端心臓血管病センター、近未来医療推進センター、信州がんセンターなどが設置されており、地域医療と密接な連携を図りながら信州医療の中核的役割を担っています。また、松本キャンパス内に専攻棟が設置されている大学院医学系研究科独立専攻（博士課程）である、疾患予防医科学系専攻では、様々の病態の解析とその予防・治療面からの解決法を究明し、高齢化社会の医療問題点など将来の医療に対処できる人材を育成するための教育研究を行うことをミッションとしています。遺伝子から細胞、個体レベルまで基礎的研究と同時に、長寿県という地域の特徴を生かした産官民連携研究も盛んに行われています。



旭総合研究棟



医学部地域保健推進センター

福利厚生施設の紹介

信州大学生協

信州大学生協は、充実した大学生活をおくるために下記のようなサポートを行っております。

- ◆ 購買・書籍・プレイガイド
- ◆ カフェテリア・食堂
- ◆ 大学生協学生総合共済，学生賠償責任保険への加入手続き
- ◆ 下宿&アパート情報 新入生向け（松本キャンパス）



信州大学生協

総合健康安全センター

総合健康安全センターは、健康教育部門と環境・安全衛生部門より成り、身体や精神面での不安や悩みを持つ学生に専門的立場から援助します。



総合健康安全センター

松本キャンパス 体育施設

松本キャンパスには、以下の体育施設があります。

- ◆ 運動場：陸上競技・トラック 400メートル・サッカーコート・ラグビー・アメフト併用コート・野球場等
- ◆ テニスコート：クレー：4面，全天候：10面
- ◆ 体育館：バスケットボールコート：4面，バレーコート：4面
- ◆ 武道場：柔道・合気道・少林寺拳法・弓道
- ◆ プール：25メートル6コース



運動場



体育館

年間行事

4月

◆入学式、新入生ガイダンス

入学式は松本キャンパスに近接する松本市総合体育館で行われます。8 学部の新入学生、編入生、留学生、合わせて約 2300 名が新たな信大生としてのスタートを迎えます。学長からの告辞の他、寮生による寮歌の披露などのアトラクションも交え、華やかに執り行われます。

◆新入生合宿研修

1泊2日の新入生合宿研修(美ヶ原高原王ヶ頭ホテル,国立妙高青少年自然の家など)が行われ、学生同士や学生と教員の交流に資するところ大です。



入学式

7
8月

◆山岳診療

北アルプス・常念岳の常念小屋に併設された山岳診療所(常念診療所)において、夏季の登山シーズン限定でボランティアの医師・看護師・医学部山岳会学生で構成される医療スタッフが常駐し、登山客の病気・ケガなどの治療にあっています。山岳県長野を拠点とする信州大学医学部を特徴づける活動の一つです。

◆オーストラリア・カーティン大学短期留学

保健学科では平成 12 年からオーストラリア、パースのカーティン大学で、3 週間の短期海外研修プログラム(Nursing, Biomedical Sciences, Physiotherapy, Occupational Therapy の 4 コース)を実施しています。海外研修体験を通じて、英語や専門科目への学習意欲の向上、進路や人生観に対する視野の広がりなど、その後の生活に多大な影響を及ぼしているようです。



常念岳登山

10月

◆遺骨返還式・慰霊祭

医学教育及び医学研究のために尊い遺体を捧げられた方々(献体)の御霊を慰霊し、御遺族に御遺骨を返還します。医学部生として“人間の尊厳と命の重さ”を思い、より一層の精進を御霊に誓います。



銀嶺祭

11月

◆大学祭

松本キャンパスでの大学祭は「銀嶺祭」として開催され、展示発表、模擬店、コンサート等が開かれ、多くの学生が参加します。松本キャンパスが1年で最も賑わう時です。



スキー合宿

1月

◆スキー合宿

医学科生と教員との親睦を深める目的で、毎年白馬で開催されるスキー王国 NAGANO にある信州大学医学部ならではのイベントです。学生にとっては授業とは違った打ち解けた雰囲気配属前に臨床・基礎医学教室の情報が入手できる貴重な機会でもあります。

2
3月

◆医師・看護師・保健師・助産師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士国家試験

信州大学での学業面での総仕上げとなります。試験合格者は医師・看護師・保健師・助産師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士としてそれぞれの免許を取得することになります。

3月

◆卒業式・学位記授与式

医学部を含む松本キャンパスの卒業式・学位記授与式は長野県松本文化会館で行われます。サークルや寮での追い出しコンパも盛んに行われ、最後の学生生活を謳歌します。卒業後は医師・看護師・保健師・助産師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士としてそれぞれの分野での活躍が期待されます。



卒業式

学生生活の案内

入学料・授業料

(金額は平成27年5月1日現在)

区 分	金 額	納 入 時 期	
入 学 料	282,000円	入学手続き時	
授 業 料	前 期 分	267,900円	4月下旬(預金口座自動振替)
	後 期 分	267,900円	10月下旬(預金口座自動振替)

入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。
また、授業料は、前期と後期の2期に分けて、それぞれの指定日に普通預金口座から自動的に引き落とされます。

入学料・授業料の免除・月割分納

1) 入学料免除

特別な事情で入学料の納付が著しく困難と認められる者に対し、選考により、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者に対し、選考により、各学期の授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

3) 入学料・授業料の徴収猶予

入学料・授業料が経済的理由により納付期限までに納付が困難で、かつ、学業優秀と認められる場合は、選考により、入学料、各学期の授業料の支払期限が一定期日まで延長される制度があります。

4) 授業料月割分納

経済的理由により、支払期限までに授業料の支払いが困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、選考のうえ、その期の授業料を月ごとに分割して支払うことができる制度があります。

奨学金

日本学生支援機構、地方自治体及び民間育英団体等から、経済的理由により修学が困難であり、かつ成績の優れた学生に対して、選考により奨学金を貸与又は給付される制度があります。

保 険

学生教育研究災害傷害保険及び同付帯賠償責任保険は、大学に学ぶ学生の被る種々の教育研究活動中等の災害及び賠償責任事故に対する被害救済のための補償制度であり、財団法人日本国際教育支援協会が保険契約者となり、国内の損害保険会社との間に一括契約する保険です。本学では、この保険への加入等の手続きを行っています。

学生寮

- ◆こまくさ寮 全学部1年次生が入居対象の寮です。徒歩約15分又は自転車約5分の場所にあり、希望者には給食もあります。
- ◆芙岳寮 医学部の2年次生以上が入居対象の寮です。徒歩約10分又は自転車約3分の場所にあり、希望者には給食もあります。

アルバイト

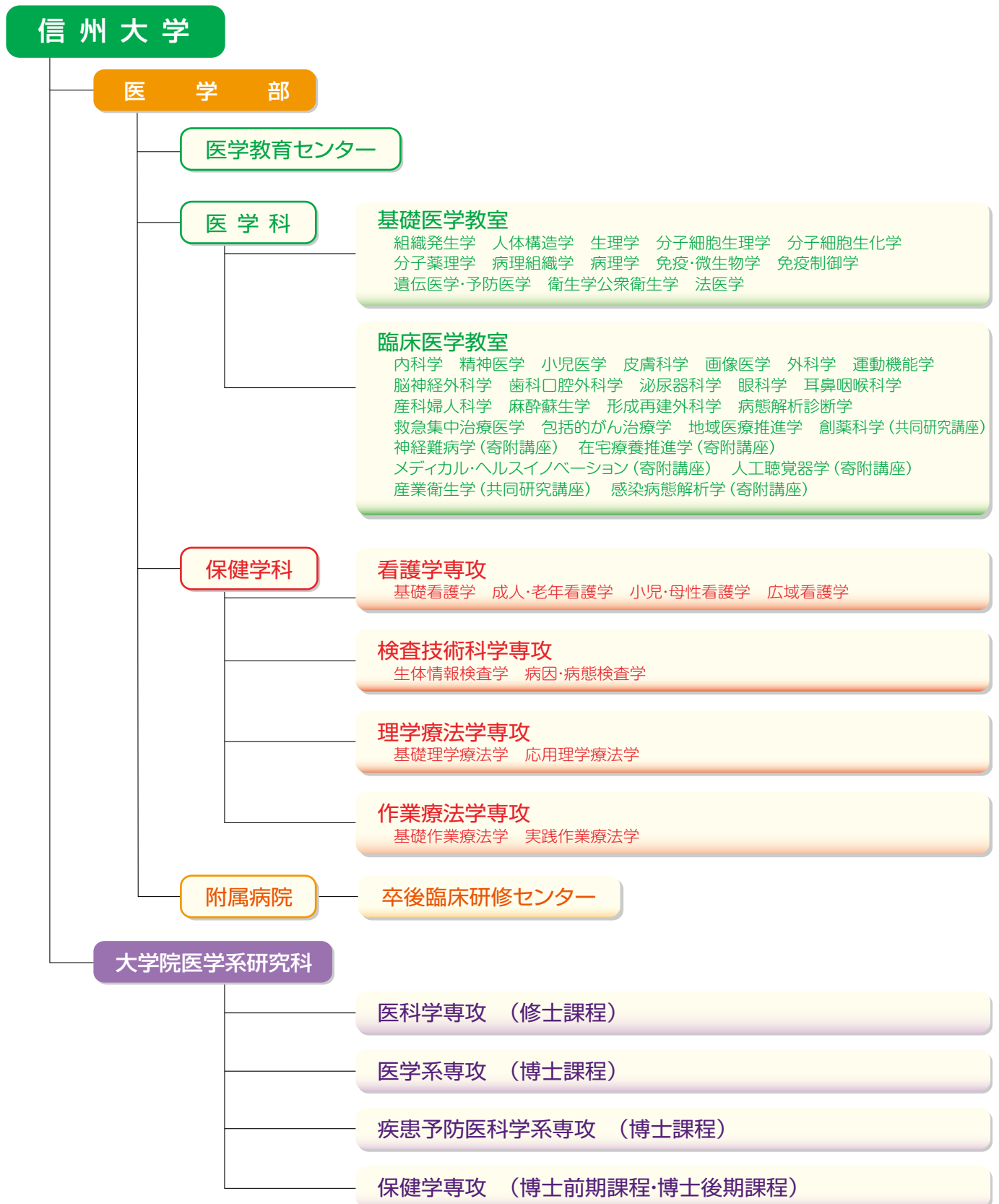
アルバイトに関する求人情報は、信州大学ホームページのキャンパス情報システムから閲覧できます。

サークル活動

文化系 軽音楽部・室内楽団・写真部・天文部・MESS・Medical映画研究会・SALTs・交響楽団、わらわら、信州大好きクラブ
体育系 空手道部・弓道部・ラグビー部・硬式野球部・ゴルフ部・サッカー部・山岳部・柔道部・水泳部・競技スキー部・卓球部・硬式庭球部・軟式庭球部・馬術部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部・バドミントン部・陸上競技部・男子バレーボール部・女子バレーボール部・剣道部・フットサル部 等
の医学部サークル以外にも、全学的組織サークル及び松本キャンパスサークル等があります。

教育・研究組織

信州大学医学部では、以下の組織で教育・研究を推進しています。





医学部医学科

School of Medicine

アドミッション・ポリシー

信州大学医学部医学科ではこんな人を求めています。

- 1) 医師となることについて明確な目的意識を持っていること
- 2) 医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力があること
- 3) 医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っていること
- 4) 病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っていること
- 5) 将来の人類のために創造的な医学研究を志向する探究心を持っていること

ディプロマ・ポリシー

(卒業認定に関する方針)

「意欲・態度」

- ・温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。
- ・医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

「思考・判断」

- ・患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

「コミュニケーション」

- ・患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。

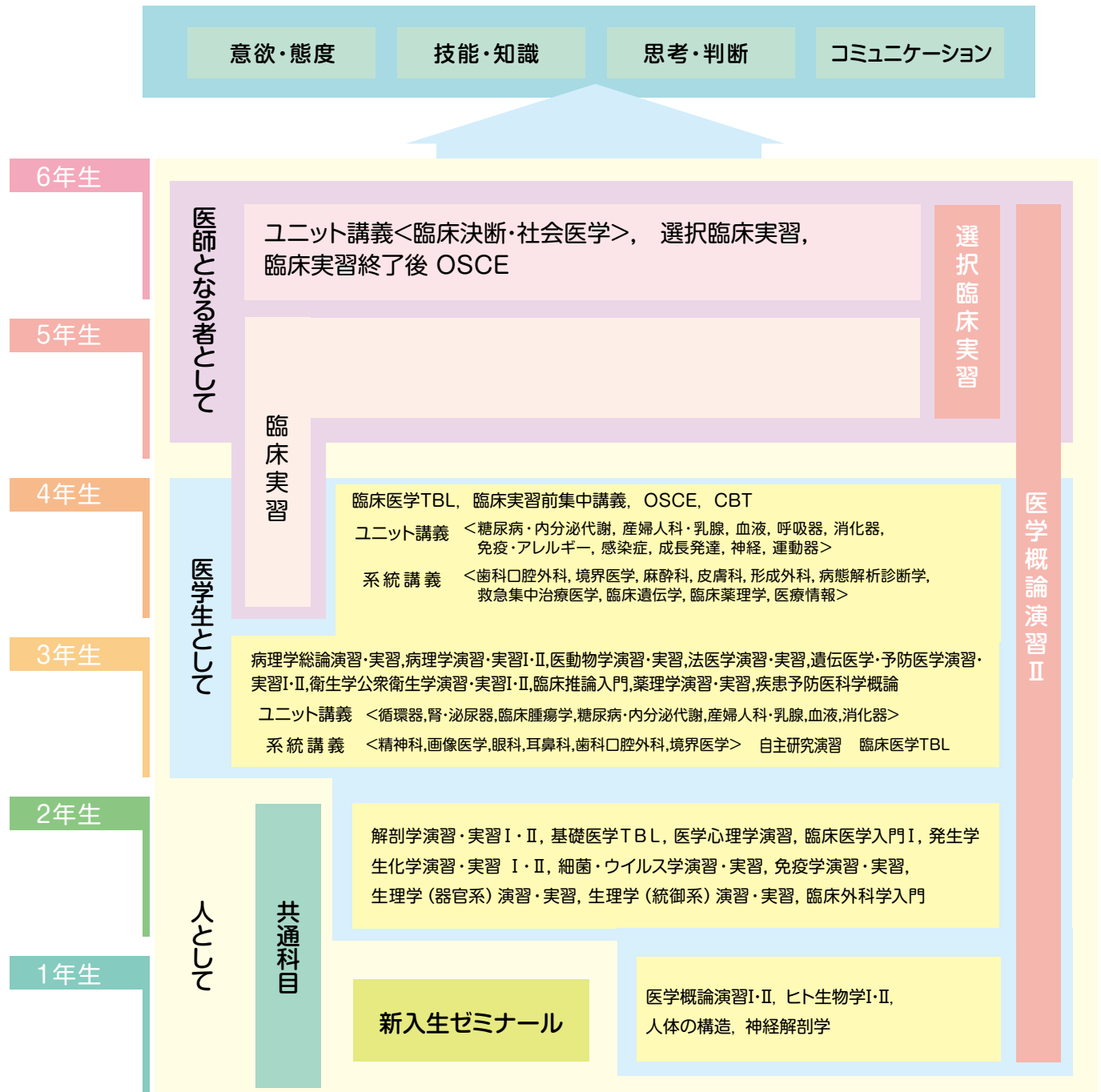
「技能・知識」

- ・疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。
- ・常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

カリキュラム

立派な医師になるためには、知識、態度、技能、考え方の面で修練が必要です。知識の面では、個々の知識を断片的に身につけるのではなく統合的に人の健康とその障害を理解できるようになることが必要です。そして、未知の領域に挑戦する旺盛な知的好奇心も養ってください。病める人を救う医療者には、情熱、思いやり、やさしさ、奉仕の精神も必須です。これらを身につけるために信州大学医学部医学科では、1年生から6年生までの一貫教育を行っています。

医学部医学科履修チャート



1年生と2年生は共通教育（いわゆる教養科目）を中心に受講します。専門科目は1年生から2年生にかけて増えて、3年生以降は専門科目のみとなります。共通教育では選択科目もありますが、専門科目は全て必修です。

医学教育センター

信州大学では医学教育センターを配置して、高度に専門分化している医学各領域の教育を統括しています。

医学教育センター教員

専任教員3名（教授1，講師1，助教1）と併任教員1名（助教1），さらに18名の兼任教員（センター会議）を配置しています。

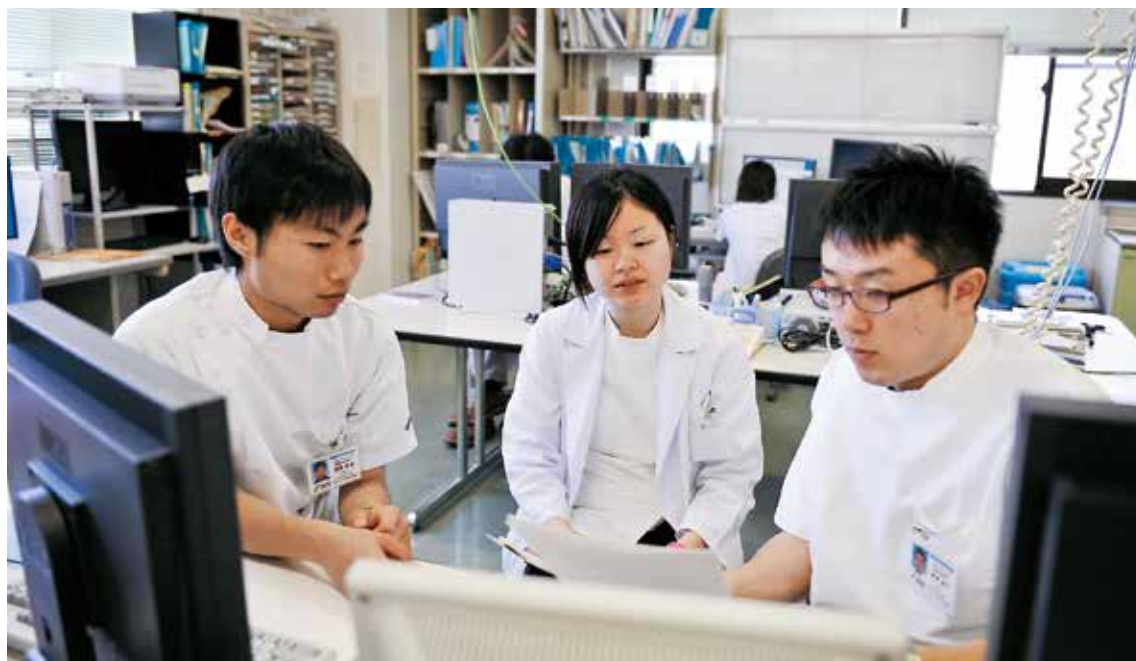
医学教育センターの業務

医学教育センターでは主として以下のことがらを扱っています。

- 医学教育全般（カリキュラム，講義，実習，試験，共用試験，学内客観総合試験，臨床実習，学外臨床実習，その他）に関する企画，立案，学内調整，運営，評価
- 医学教育の質の改善のための教員に対する研修（Faculty Development）の企画，立案，運営
- 全学教育機構（共通教育担当部門）との協力
- 学外研修会及び学会への参加
- 学外医療機関との連携（特に学外臨床実習について）
- 卒後臨床研修センターとの連携
- 臨床実習及び Objective Structured Clinical Examination のための模擬患者の養成
- 学生への個別修学指導
- 学生との相談
- 父母会との連絡

医学教育センター活動の意義と成果

医学教育センターを中心にして，信州大学では最近の医学教育改革（新モデルコアカリキュラムへの対応，卒後臨床研修を見据えた新カリキュラムの導入，Objective Structured Clinical Examination や Computer-Based Testing の導入など）を全て順調に実施しています。各学年での Team Based Learning 教育や，臨床医学におけるユニット講義の導入なども行いました。今後も医学教育センターは，信州大学における医学教育の改善のために活動していきます。





基礎医学教育

医学の分野は、大きく基礎医学と臨床医学に分かれます。臨床医学は患者さんを診療するための分野で、内科学や外科学などが含まれます。一方、基礎医学は臨床医学の基礎をなす分野で、解剖学、生理学、生化学、細菌・ウイルス学、医動物学、免疫学、病理学、薬理学が含まれます。また法律上問題となる医学的事項を取り扱う法医学や、疾病の予防や社会的な健康と増進を図る遺伝医学・予防医学、衛生学公衆衛生学も基礎医学に含まれます。

医学は幅が広く奥が深い学問です。したがって、皆さんが医師になるまでに学ばねばならない知識は膨大です。この知識を6年間で効率的に学習するためには、秩序だったカリキュラムが不可欠です。本学では、入学直後から少しずつ基礎医学の勉強を始め、3年生で基礎医学を修了できるよう綿密なカリキュラムが組まれています。

基礎医学では、ヒトの体の正常な構造や機能を支える仕組み、それが破綻して病気が生じる仕組み、そして病気を予防・治療する方法を学びます。基礎医学で扱う内容の一部は、一般の生命科学とさほど変わりません。しかし医学は、人の病気を予防し、診断し、治療するという明確な目的を持った学問なので、この意味で一般の生命科学と異なります。基礎医学を修得することは、臨床医学を理解するために大変重要です。また基礎医学で学んだ生体への理解は、臨床医学の知識を実際の患者さんに適用するときにも大変役立ちます。

このように基礎医学は、教育の面から見ると臨床医学の前段階です。しかし歴史的には、まず臨床医学ができ、





次に基礎医学が発展しました。つまり基礎医学は、臨床医学だけでは解決できない問題に取り組むための先端的生命科学でもあります。本学でも多くの基礎医学者が、発症機序や治療法の分からない病気の研究に日夜取り組んでいます。本学では、皆さんにこのような基礎医学の側面についても学んでもらえるように、3年生に「自主研究演習」というカリキュラムを組んでいます。自主研究演習では、皆さんが希望する研究室に赴き、一線の研究者とともに研究をして、医学の科学としての側面を勉強します。本学の基礎医学のカリキュラムでは、知識としての基礎医学の教授のみならず、そこで学んだり体験したりしたことを自分の頭で咀嚼し、考え、生かすことのできる医師を育てることを目標にしています。

..... 学生の声



松本の魅力

医学科3年 小口 高広
出身校:長野県諏訪清陵高等学校

ここ長野県松本市といえば、国宝である松本城や日本アルプスなどが有名ですね。ただ、これらは実際、僕たち大学生にとって特別なものではありません。僕が二年間、松本市で生活して感じたことは、人と人の距離の近さです。松本市は、都市に比べて、ビルや大型のお店がそれほど多くはありません。その代わりに、大学近くには昔ながらのお店があり、何度も通ううちにお店の人に顔を覚えてもらえ、親しくなれることもあります。生活の中で年齢も職業もまったく異なった人と交流できるのは、松本市の大きな魅力だと思います。

信州大学医学部は、そんな松本市にあります。信州大学は講義、臨床研修はもちろん、研究にも力を入れています。3年次では、自主研究というプログラムがあり、約二ヶ月間、自分の興味がある研究室に行って実際に研究に携わることができます。これをきっかけに研究に興味を持ち、自主研究期間以降も研究室に通う学生も多くいるようです。僕自身も研究はあまり考えたことはありませんが、この期間を通して新しい視点を得ることができれば良いと思います。

皆さんの中には、卒業後の進路として、なんとなく臨床医を考えている人が多いのではないのでしょうか。信州大学では、上に紹介した研究プログラムで将来の視野を広げることができます。また、臨床医になることを決めている人も、松本市で地域の方と触れ合い、コミュニケーションをとることは将来仕事をするとき生きると思っています。そんな信州大学で皆さんと学べることを楽しみにしています。



信州の魅力

医学科4年 吉野 翔太
出身校:私立聖光学院高等学校

私たち信州大学医学部医学科の学生は、松本のキャンパスで6年もの日々を過ごします。この信州・松本の魅力といえば何と言っても大自然です。外に出て周りを見渡せば昼なら雄大な日本アルプスを、夜なら満天の星空を楽しむことができます。また、夏は登山にキャンプ、冬にはスノースポーツを本当に身近なところで楽しむことができるのも信州の大きな魅力です。

そんな信州で学ぶ私たち信州大学医学部の雰囲気を一言で表すならば、「アットホーム」だと思います。県外出身や県内他地域の学生が多く、一人暮らしの学生が多いということもあってか、友達というよりも新しい家族と言ってもいいほどに皆とても仲がいいです。

部活動やサークル活動が盛んであるということも信大医学部の特徴です。多くの学生がスポーツや芸術などの部活あるいはサークルに所属し活動しています。このような活動に打ち込めるのも、大学が医学部図書館を24時間利用可能にし、私たち学生が自分の都合に合わせて自習、あるいは調べものに利用することができるようにしてくださるなどといった、学業面でのサポートをしてくださっているからこそだと思います。

このように、信大医学部は本当にいい環境であると思います。ここには書ききれなかった魅力もたくさんありますので、ぜひ皆さんもここ松本、そして信大医学部だからこその魅力を存分に味わっていただきたいなと思います。皆さんと一緒に学ぶことができるのを楽しみにしています！



臨床医学教育



臨床医学の勉強では、病める人を救うという情熱、それに必要な知識、技能、態度、コミュニケーション能力などを身につけます。また、今は治せない、診断できない病気の解決にむかって知的に挑戦する心を養うことも大事です。このために、系統講義、ユニット講義(それぞれの領域の疾患について内科や外科といった教室枠を越えて統合的に集中講義を行う形式)、少人数での問題解決討論型実習 (Team-Based Learning-Tutorial)、診療参加型臨床実習が行われます。以下に具体的に見ていきます。

臨床医学を学んでいく過程では、それまでに学んだ基礎医学の知識、つまり身体の構造、身体の機能、それを維持するメカニズム、それらに障害が起こった場合のような異常が起こるのか、病気の診断と薬物治療などを存分に活用することが必要です。

つまり、基礎医学と臨床医学はとても密接に結びついていますので、その双方についてしっかり身につける様、カリキュラムが組まれています。

臨床医学の講義の最初の部分では、患者さんの症状をどのように整理して病気の診断に結びつけるかを学びます。これは、症状から病気を思い浮かべるといった作業です。そのためには、どのような病気がどのような症状を作り出すのか、ということを確認しておくことが必要です。これは、病気別に症状を整理する、ということです。そこで、それぞれの臓器(たとえば心臓、消化器など)やシステム(免疫系など)にどのような病気があるのか、それぞれの病気はどのような症状を作り出すのか、も学んでいきます。

一方で、病気の診断に必要な身体診察の方法や臨床検査の知識、病気の治療方法(非薬物療法、薬物療法、手術、放射線療法など)も身につけて行きます。患者さんとのコミュニケーションの取り方の勉強もします。





4年生後期からは臨床実習が始まります。臨床実習では、各教室(臨床全科)に5-6人のグループで配属され、外来を受診した患者さんや入院している患者さんを受け持って、指導医の監督の下にコミュニケーションの取り方、身体診察、診断、治療などについて勉強させていただきます。現在、診療参加型臨床実習といって、学生も見学だけでなく診療チームの一員として診療に参加する、という形の臨床実習への変換が進行中です。臨床実習の一部は大学病院以外に地域の病院でも行われます。

5年生後期からは、臨床実習の総まとめとして選択制の診療参加型臨床実習が行われます。ここでは、学生は、自分が希望する診療科に、1人で、原則として4週間所属して、いわば医師の「みならい」として勉強を続けます。その後、最後の集中講義、卒業試験、国家試験への準備があつて、6年間の医学部での勉強が修了します。

..... 学生の声



信州での学び

医学科5年 荻山 めぐみ
出身校：長野県飯田高等学校

人の笑顔が好きで、人の役に立てる仕事がしたい。困っている人の力になりたい。そんな思いから、私は医学部医学科への進学を決めました。学年が上がって専門科目を学んでいくにつれ、医師になる者としての責任や、人の命に関わることの重さを感じています。

信州大学では、臨床実習を充実させた新カリキュラムがスタートしています。信州大学附属病院や地域の関連病院での実習では、指導医の先生方、患者様から、日々多くのことを学ばせて頂いています。忙しい毎日ではありますが、部活動等の課外活動と両立しながら頑張っている学生が多いです。私は医学部室内楽団に所属しており、信州大学病院内で入院患者さん向けのコンサートを定期的で開催したりと、楽しく活動しています。部・サークル活動が盛んであることも、信州大学医学部の魅力の一つだと思います。また、寒さは厳しい信州ですが、綺麗な星空や豊かな自然に恵まれ、のびのびと過ごすことができます。

医師を目指すということは、ただ医学を学ぶだけではないはずです。患者さんの痛みや苦しみに寄り添える優しさや、コミュニケーション能力など、一人の人間として成長することがとても大切だと私は考えています。信州大学には、全国から集まってきた仲間と切磋琢磨しながら、充実した学生生活を送れる環境が整っています。そんな信州で皆さんと共に学べるのを楽しみにしています。



自然豊かな信州

医学科6年 蒲池 厚志
出身校：宮崎県立宮崎西高等学校

ここ信州はアルプスの山々に囲まれた自然豊かな地で、勉強するには勿論、スポーツをするにも、芸術活動をするにも、素晴らしい土地です。緑に囲まれた静かな環境は、私たちの気を落ち着かせ、集中力を高めてくれます。勉強、スポーツ、芸術活動、なにをするにも最高の出来を与えてくれる素晴らしい環境です。信州大学医学部の学生の多くはそのような信州の地で、勉強のみならず、スポーツ、芸術活動、その他各種活動に積極的に取り組んでいます。

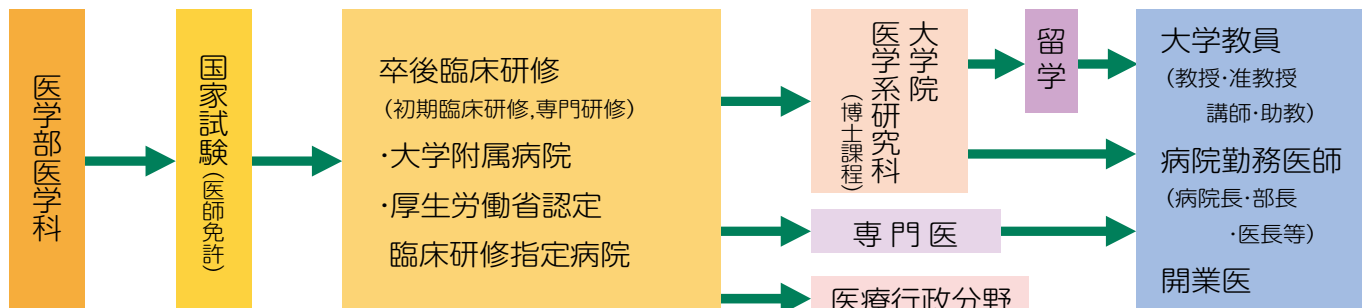
ところで医療者を目指す皆さんは、医療者にはどのような能力が必要だと考えますか。よい医療者になるためには、単に医学の知識を持っているだけではこと足りません。よい医療者になるためにはチームワーク力、コミュニケーション力、集中力、忍耐力、体力、その他様々な能力が必要です。これらの能力は医学の勉強で得るといっても、スポーツ、芸術活動、その他各種活動を通して身につけるものです。勿論、医療者になってからでは各種活動を行える時間はありません。比較的時間のあふる大学生のうちこれらの活動を通して医療者として必要な能力を身につけておきたいものです。

改めて言いますが、ここ自然豊かな信州は、勉強するにもスポーツするにも芸術活動するにも素晴らしい土地です。信州大学医学部に入学し、そして私たちと一緒に勉強、スポーツ等、様々な活動を行いましょ。そして、よい医療者を目指しましょう。

卒業後の進路について

卒業後の進路

医学部を卒業し、医師国家試験に合格すると原則として2年間の研修医生活（初期臨床研修）を送ることとなります。その後は、いろいろな進路（専門研修、大学院進学、及び医療行政分野等）が選択できます。



卒業後の進路の情報

最近5年間の医師国家試験結果

	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
平成27年	100	94	94.0%	14	11	78.6%
平成26年	95	86	90.5%	14	11	78.6%
平成25年	91	82	90.1%	11	6	54.5%
平成24年	98	92	93.9%	8	3	37.5%
平成23年	96	91	94.8%	10	6	60.0%

卒後臨床研修センター

信州大学医学部附属病院の臨床研修プログラムは、研修医の自由度が日本一です。どの病院で何を研修するのか、すべて皆さんの希望を第一に決定します。どのプログラムも初期2年間で習得すべき経験だけでなく、生涯を通じての医師としての経歴の第一歩としてふさわしく、医師としての姿勢をも習得できるプログラムです。また、初期研修中の大学院入学も支援しています。将来、信州大学臨床研修プログラムを選んだことに後悔することはないでしょう。

A.信州大学と長野県内関連病院群研修プログラム(45名程度)

信州大学医学部附属病院と、長野県内25病院が共同して実施する研修プログラムです。病院の選択方法は3通りあります。

- (1)1年目を信州大学,2年目を関連病院で研修
- (2)1年目に関連病院,2年目に信州大学で研修
- (3)2年間を通して信州大学で研修

マッチング後に各人の希望に沿った研修内容(研修病院)を決定します。

2年目の研修病院は1年目の研修中(12月頃)に決定します。

B.信州大学産婦人科研修プログラム(2名)

C.信州大学小児科プログラム(2名)

D.信州大学外科研修プログラム(3名程度)

将来、それぞれの診療科に進む皆さんのためのプログラムで、初期研修と専門研修を一体として運用しています。早期から専門的な研修を長期間行いつつ、各科に共通する基本的診療能力を関連施設での研修も組み入れて確実に習得します。



専門研修(後期研修)プログラム

2年間の初期研修の後、いよいよ各診療科の専門研修(後期研修)となります。信州大学医学部附属病院各科が専門領域の臨床研修プログラム(3~5年)を用意しています。これまでも信州大学医学部附属病院と第一線病院の緊密な連携により、若手医師がいずれも優秀な専門医へと育ち患者さんの期待に応えています。さらにその中から大学教授や各病院の部長など指導的立場の人材を多数輩出しています。

信州医師確保総合支援センター—信州大学医学部分室 地域医療推進学講座

近年、地域医療に関連した講座が全国の医学部、医科大学に設けられるようになってい
ます。講座名は、地域医療を冠した、地域医療総合医学講座、地域医療教育学講座、地域医
療システム学講座、総合地域医療講座、地域医療学講座、地域医療センター、地域医療科
学教育研究センター、地域医療実践センター講座など様々です。これら講座は、地域医療
を担う医師の養成や地域医療の人材確保の仕組みの構築と卒前教育における地域医療教育
の充実を目的としています。

長野県においても、長野県寄附講座としての信州大学医学部地域医療推進学講座が医師
不足を主たる原因とする長野県の地域医療の崩壊を少しでも阻止すべく「県内病院の特に
医師不足が深刻な診療科における医師の養成・確保を図るため、医師が不足する特定診療
科の効率的な医師の養成等に関する実践的研究を行い、信州大学医学部を中心とした即戦
力医師等の供給システムの構築を図る。」を目標に、平成21年度から平成23年度の3年間
の予定で設置されました。平成24年度には、長野県寄附講座としての地域医療推進学講座
が解消され、新たに信州大学医学部講座としての『地域医療推進学講座』が開設され、こ
れまでの、高校生、医学生、若手医師を対象とした、主に医師の相対的不足（医師の地域偏在・
診療科偏在など）の解消のための事業と活動の他に、地域医療の魅力を伝え地域医療マイ
ンドを育むことを目標にした地域医療教育にも参画するようになりました。また、この講座
には、平成23年10月より長野県の医師確保等総合事業の柱となる信州医師確保総合支
援センターの信州大学医学部分室が併設されており、特に長野県医学生修学資金貸与者（学生・
医師）の進路相談ならびにキャリア形成の支援を行っています。医師の偏在解消を目指す
ための多彩な取り組みは、すべて長野県からの委託事業となっています。



第5回高校生医療現場体験セミナー



第18回地域医療推進学講座セミナー



第3回高校生医学部進学セミナー



第6回信州医療ワールド夏季セミナー

信州大学医学部地域医療推進学講座の取組みの概要

信州大学医学部地域医療推進学講座

信州医師確保総合支援センター

長野県の医療を担う医師の確保ならびに定着の推進
地域医療マインドの涵養とロールモデルの提示

相対的医師不足(偏在)の解消の
ための事業と活動の展開

長野県・信州大学医学部・
県内医療機関の協力・連携の促進

長野県医学生修学資金貸与者を対象

- ・ 卒後のキャリア形成のサポート
- ・ 学習会の開催
- ・ 卒前の相談窓口

高校生を対象とした啓発活動

—医学部医学科進学促進—

- ・ 医学部進学セミナー
医学科受験指導と医師による講演
- ・ 信州大学医学部医学科オープンキャンパス
企画と運営
- ・ 医療現場体験セミナー
3月と8月年2回、年2~4病院にて開催
実際の医療現場での体験学習
- ・ 高校での医学部医学科説明会
6月~7月に県内高校にて実施
- ・ 医師・医学生に聞く
様々な分野で活躍する医師の講演
医学生・若手医師との懇談

医学科学生、研修医・若手医師を対象

—地域医療マインドの醸成—
—研修医と若手医師のサポート—

- ・ 地域医療推進学講座セミナー
1~2ヶ月毎に開催
地域医療に従事する医療者による講演
- ・ 地域医療推進学講座勉強会
年2回の開催
求められる基礎となる臨床力の涵養
- ・ 地域医療実習(医学科学生のみ)
8月に地域病院ならびに診療所にて開催
- ・ 信州医療ワールド夏季セミナー(医学科学生のみ)
全国の医学科学生を対象
医療問題に関するディベート、意見交換会
信州大学診療科・県内病院見学
- ・ 地域医療セミナー
年4回の開催
信州大学医学科3年生を対象

指導医を対象

—県内での初期臨床研修の促進—
—良医の育成—

- ・ 初期臨床研修指導医講習会
信州大学医学部附属病院卒後臨床
研修センターと共催
- ・ 指導医の意見交換会
長野県医学生修学資金貸与者の卒
後研修ならびに卒後のサポートに関
して

医学部附属病院

概要

信州大学医学部附属病院は、長野県では唯一の大学総合病院であり、高度な医療の提供、高度な医療技術の開発及び高度な医療に関する研修施設として、特定機能病院の承認を得ています。本院は、長野県のみならず隣県の医療や福祉にも責任を負っていますが、同時に、医師・看護師・保健師・助産師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士などのいわゆるメディカルスタッフを育て社会に送り出す場でもあります。むろん、未来につながる先端的な医療技術を開発することも大学病院の大きな責務です。

本院では、約 1,800 人の職員（うち医師約 580 名、看護師約 720 名）が働いており、毎日約 1,500 人の外来患者さんと約 630 名の入院患者さんの診療に当たっています。治りにくい病気を持つ患者さんが 1 人でも多く社会復帰できるように、スタッフ全員が一丸となって頑張っています。大学病院は、働いている人々が最高の医療人を目指して修練を積む場、あるいは世界トップレベルの医療技術の開発を目指す場でもあります。

本院は、全ての診療分野で世界に通じる一流の医療人になれるよう、十分な優れた指導者と最新の設備を備えています。

平成23年度の実績
10月 信州ドクターヘリ松本の運航開始

平成24年度の実績
12月 手術支援ロボット「da Vinci」の運用開始

平成25年度の実績
4月 難病診療センター鹿教湯病院医療教育センターを鹿教湯病院に設置
信州がんセンターの設置
6月 成人先天性心疾患センターの設置
11月 総合診療科の設置
おひさま保育園の開園

平成26年度の実績
4月 企画マネジメント課を経営企画課に改組
医療支援課設置
組織移植再生医療センター設置
5月 日本医療機能評価機構による評価の認定(更新)
6月 糖尿病サポートチーム設置
10月 臨床試験センターを臨床研究支援センターへ改組
病院玄関へ路線バスの乗り入れ開始



外来棟外観

先端医療への取り組み

近未来医療推進センターでは、先端医療プロジェクトの推進、先端的医療の開発研究と臨床試験の実施、予防医療の研究推進、新規医療技術習得のための教育と研修、外部資金による教育研究の支援など、具体的には、社会構造や疾病構造の変化によって増え続けるメタボリックシンドローム、生活習慣病や糖尿病発症の予防、認知症やうつ病の発症メカニズムの解明による予防法の確立、また、遺伝学的検査による分子治療、がんの治療法「樹状細胞ワクチン療法」などの先端医療外来と外部資金による寄附講座部門における臨床研究と治療方法の開発など、医学部、附属病院を横断的に結びつけ、国内外に近未来の先端医療発信を目指しています。

【研究開発部門】 先端細胞治療センター (CPC) における、がんの治療法「樹状細胞ワクチン療法」や、遺伝子治療などを行うとともに研究支援活動を推進しています。

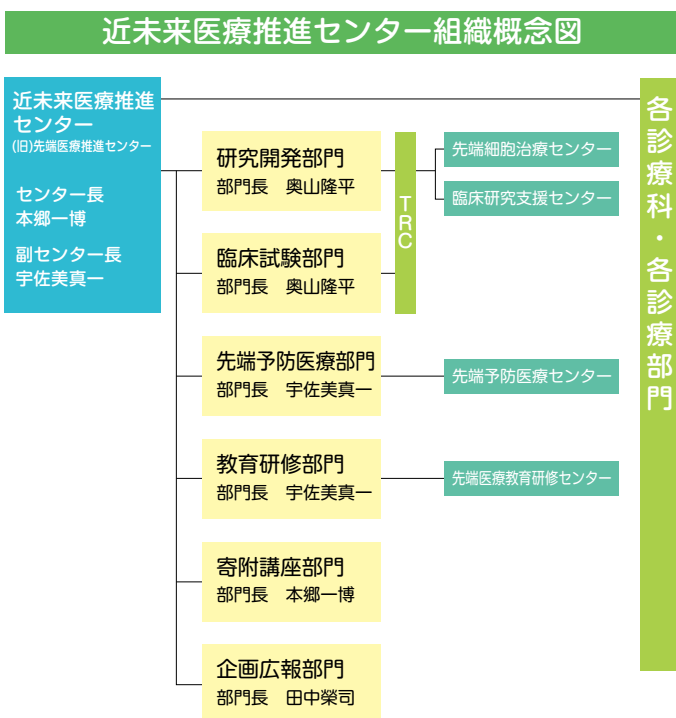
【臨床試験部門】 臨床研究支援センターが臨床研究を推進して、信州大学発の治療薬や器械の開発を目指しています。

【先端予防医療部門】 臨床及び脳機能・生活習慣病・遺伝子情報等のデータベースの構築を行い、NPO 法人熟年体育大学リサーチセンターなどと連携し、テラーメイドの健康管理、予防法の確立を目指し、企業と団体との共同研究及び研究プロジェクトを積極的に推進します。

【教育研修部門】 先端医療に関連した教育、資格認定、人材育成を行います。

【寄附講座部門】 外部資金による講座等を置き、先端医療の研究を行います。

【企画広報部門】 先端医療について情報を発信し、各プロジェクトを支援します。



入試について

※下記に記載の内容については、医学部医学科の平成28年度入学試験についてのものです。(平成27年5月末現在)
また、詳細については変更されることがありますので、必ず各学生募集要項等でご確認ください。

募集人員

学 科	一般入試	推薦入試	計 (入学定員)
	前期日程		
医学科	100	20	120

一般入試の実施教科・科目等 (学生募集要項は、11月中旬発表)

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期日程	国語 地理歴史・公民	国語 世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政経 倫理・政経 から1科目	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B
	数 学		外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ
	理 科		理 科	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 から2科目
	外国語		英語	その他 面接
		[5教科7科目]		

【旧課程履修者に対する経過措置】

- (1) 「旧教育課程履修者」とは、以下のa, b以外の方とします。
a 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの方
b 中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの方
- (2) ◎印の科目(工業数理基礎)は旧教育課程履修者に対する経過措置の科目で、旧教育課程履修者のみ選択回答することができます。

推薦入試 (学生募集要項は、7月中旬発表予定)

将来の長野県の医療を支える医師となることを決意した方を対象に、「長野県内枠推薦入試制度」を実施しています。

平成28年度大学入試センター試験において、医学部の指定した教科・科目を受験する方で、次の(1)または(2)に該当し、人物が優秀で、高等学校(中等教育学校を含みます。以下同じ。)の学習成績概評がⒶ又はA段階に属し、高等学校長が責任を持って推薦できる方とします。

- (1) 長野県内にある高等学校を平成28年3月31日までに、卒業見込みの方(平成27年4月以降に高等学校を卒業した方を含みます。)
- (2) 長野県内にある高等学校を平成26年4月1日から、平成27年3月31日までに卒業した方

私費外国人留学生入試

外国人であって、私費により本学部医学科で勉学しようとする方には、大学入試センター試験を免除し、特別な選抜を行います。募集人員は、若干名です。

入学者選抜試験実施状況

年 度	区分	定員	志願者数	第1段階選抜合格者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成27年度	推薦	20	67		67	20	20
	前期	85	763	596	549	86	85
	後期	15	513	300	157	18	15
	計	120	1,343		773	124	120
平成26年度	推薦	20	66		66	20	20
	前期	55	849		746	58	55
	後期	45	1699	901	482	51	45
	計	120	2614		1294	129	120
平成25年度	推薦	20	47		47	20	20
	前期	55	348		299	56	55
	後期	45	1,065	901	492	49	45
	計	120	1,460		838	125	120
平成24年度	推薦	15	40		40	15	15
	前期	55	301		254	55	55
	後期	45	1,345	900	529	49	44
	計	115	1,686		823	119	114
平成23年度	推薦	15	51		51	15	15
	前期	55	220		177	57	55
	後期	45	966	900	482	48	45
	計	115	1,237		710	120	115

《私費外国人留学生》

年 度	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成27年度	0	0	0	0
平成26年度	0	0	0	0
平成25年度	0	0	0	0
平成24年度	0	0	0	0
平成23年度	1	1	0	0

【募集要項の請求について】

信州大学案内・入学者選抜要項・一般入試学生募集要項の請求先

信州大学入試課 TEL 0263-37-3450
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)

推薦入試学生募集要項の請求及び医学科入試に関する問い合わせ先

信州大学医学部医学科 入試事務室 TEL 0263-37-2580

(土曜日・日曜日、祝日及び休日は、取り扱いません。電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。)
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/prospective/>)

医学部保健学科

School of Health Sciences

アドミッション・ポリシー

保健学科は専門性の異なる看護学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻で構成されています。保健・医療においては専門性を追求するだけでなく、刻々と変化していく社会情勢や科学に対応し、様々な職種間の連携をとることが必要です。

このため、保健学科は、次のような資質を備えた学生を強く望んでいます。

- 1) “人”に深い関心と思いやりを持ちうる人
- 2) 絶え間なく進歩する科学を理解・適用していくための基礎学力と論理的能力のある人
- 3) 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たそうとする意欲のある人

ディプロマ・ポリシー

信州大学医学部保健学科の理念と目標に則り、以下の知識と能力を十分培った学生に「学士（看護学）」又は「学士（保健学）」の学位を授与する。

1. 生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。
2. 保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。
3. 保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。
4. 保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。
5. 文化の多様性を理解し、国際的視野に基づいた保健・医療活動の必要性とその方法を理解できる。
6. 多くの学問分野に接して幅広い教養と探求的、創造的思考を身に付け、保健・医療の専門職者として必要な学習課題や目標を自ら設定し、常に課題の克服や目標達成に取り組むことができる。

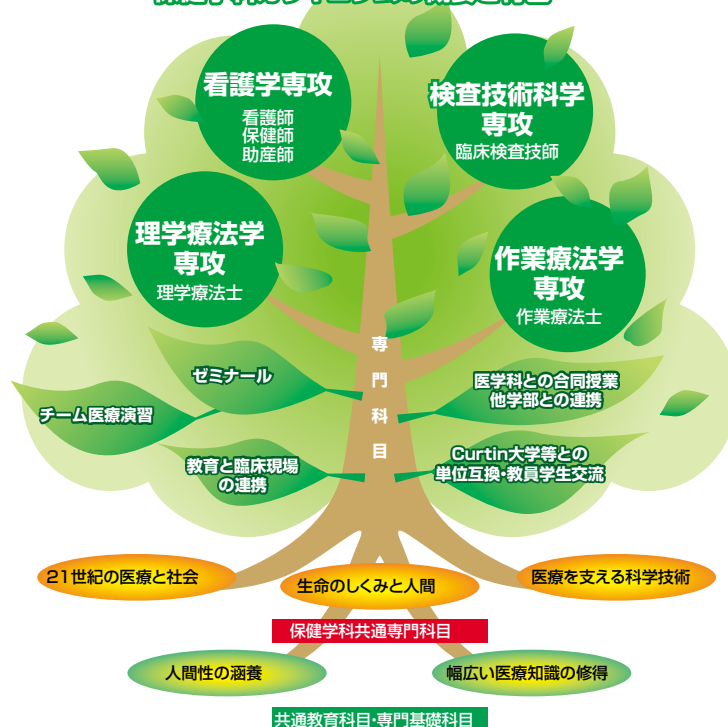
看護学専攻

検査技術科学専攻

理学療法学専攻

作業療法学専攻

保健学科カリキュラムの概要と特色

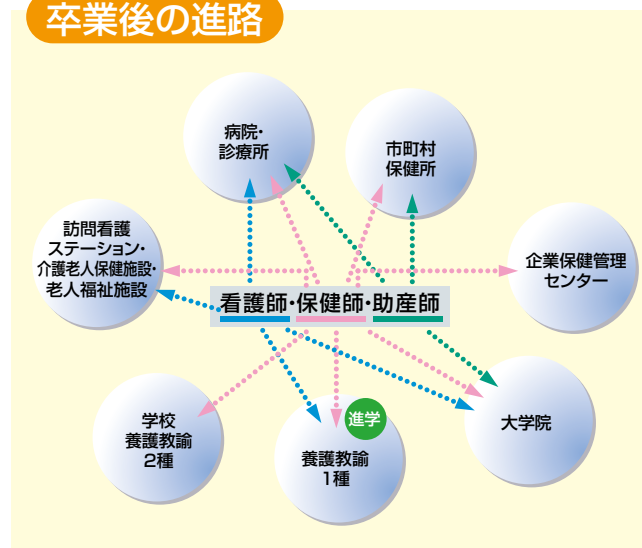


看護学専攻

近年、めざましい高度先進医療の進展と、急速な少子高齢社会の到来により、保健医療福祉領域における医療職者の役割も拡大し、多様化してきています。こうした状況の中で、看護学専攻では豊かな感性と限りない知への探求心を持ち、人間の命の尊さを真摯に理解し、あらゆる健康レベルにある人々を尊重し、気遣い、思いやる心をもった人材を育てていきたいと考えています。これらの人間教育を基盤に、健康や病気の成り立ちの学習、対象を理解する方法や対象の健康や生活を支援する方法など、看護職者に必要な知識・技術・態度について学んでいきます。また、今後様々な医療専門職者との連携によるチームでの実践活動が求められてきますが、その一員としての役割を理解するとともに、チーム医療におけるメンバーシップやリーダーシップを担える看護職者の養成を目指しています。ここでの学びを通し、卒業後には看護師、保健師、助産師として病院や診療所などの医療機関、自治体や企業、

市町村や保健所あるいは海外などで活躍したり、さらに大学院に進学して高度専門職者としての教育や研究を深めることができます。ともに学びませんか。ファイトあるあなたをお待ちしています。

卒業後の進路



保健師及び助産師コースの履修については、3年次進級時に、各々約20名を選考することとなります。



専攻履修チャート

医学部・看護学専攻履修チャート

※赤字は必修科目

- ①生命の尊厳と全人的な理解に基づく健康支援
- ②科学的根拠に基づく保健・医療に関する理解
- ③保健・医療の専門職者としての基本的知識・技術とその応用
- ④チームにおいて協働する能力
- ⑤国際的視野に基づく保健・医療活動
- ⑥学際的な視野に基づく探求心と問題解決能力

卒業研究

三・四年次

生命倫理学 看護教育学 国際看護論 看護管理論 チーム医療演習 成人看護方法論Ⅱ 小児発達看護方法論
 母性看護方法論 精神看護方法論 在宅看護方法論 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護支援論Ⅰ 看護研究概論
 成人看護学実習 老年看護学実習Ⅱ 小児発達看護学実習 母性看護学実習 在宅看護学実習 精神看護学実習
 親子関係論 救命蘇生学演習 がん看護 災害看護 専門看護特論 小児の発達障害と看護
 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護支援論Ⅲ 公衆衛生看護アセスメント論 公衆衛生看護管理論
 学校・産業看護論 疫学・保健統計 公衆衛生看護学実習 助産学概論 助産診断・技術学Ⅰ 助産診断・技術学Ⅱ
 助産診断・技術学Ⅲ 助産診断・技術学Ⅳ 助産診断・技術学Ⅴ 助産管理 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ

一年次

公衆衛生学 保健・医療・福祉政策論 看護方法論Ⅱ 看護方法論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅱ
 成人看護学概論 成人看護健康論Ⅰ 成人看護健康論Ⅱ 成人看護方法論Ⅰ 老年看護学概論
 老年看護方法論Ⅰ 老年看護方法論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 小児発達看護学概論 小児発達健康論
 母性看護学概論 母性看護健康論 精神看護健康論 在宅看護学概論 実践保健統計
 人体の構造と機能Ⅲ 医療社会学 臨床診断治療学

一年次

健康科学概論 国際医療協力論 リハビリテーション概論 生化学 栄養学
 病理病態学Ⅰ 微生物と感染 遺伝と病気 臨床心理学
 人体の構造と機能Ⅰ(解剖学) 人体の構造と機能Ⅱ(生理学)
 人体構造機能学実習 薬理学 看護学概論 コミュニケーション方法論
 看護方法論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護学概論
 ヒューマン・セクシュアリティ

(学士としての基礎的素養
 環境、教養、外国語など)

・環境マインド
 ・外国語
 ・教養
 ・健康科学

新入生ゼミナール

検査技術科学専攻

本専攻は、病院検査室をはじめとする臨床検査に携わる高度の技術と知識を有する臨床検査技師の養成を主眼としています。

特徴あるカリキュラム：

- ① 2年3年次に多くの学内実習を実施
- ② 4年次に信州大学医学部附属病院などで臨地実習を実施
- ③ 遺伝子や臓器移植など最先端の講義・実習を開講
- ④ 4か月間の卒業研究を実施

卒業後の進路：

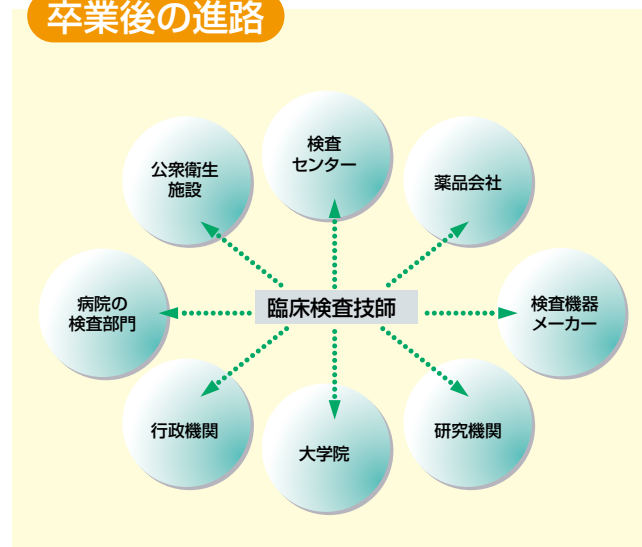
大学院進学、病院検査室、検査センター、製薬会社、行政機関などです。

本専攻教員の研究分野：

1. 免疫神経疾患
2. ヘリコバクター感染症
3. 閉塞性肺疾患と睡眠呼吸障害
4. がんの分子生物学
5. 脂質代謝異常と生活習慣病

6. 薬剤耐性菌と院内感染制御
7. フィブリノゲン異常症・欠損症と遺伝子検査
8. 血液悪性腫瘍
9. 異常免疫グロブリン
10. 組織細胞形態検査法

卒業後の進路



専攻履修チャート

医学部・検査技術科学専攻履修チャート

※赤字は必修科目

- ①生命の尊厳と全人的な理解に基づく健康支援
- ②科学的根拠に基づく保健・医療に関する理解
- ③保健・医療の専門職者としての基本的知識・技術とその応用
- ④チームにおいて協働する能力
- ⑤国際的視野に基づく保健・医療活動
- ⑥学際的な視野に基づく探求心と問題解決能力

卒業研究

三・四年次

生命倫理学 救命蘇生学演習 チーム医療演習 医療システムとマネージメント 臨床検査管理学
 臨床検査総論Ⅱ(関係法規) 臨床検査解析学Ⅰ 臨床検査解析学Ⅱ 病理組織解析学 脳・平衡機能検査学実習
 神経・筋機能検査学実習 医用センサー工学 画像解析学 画像解析学実習 実験動物学
 遺伝子検査技術学実習 RI 検査学 分子細胞生物学 ウイルス・真菌検査学実習 感染制御学特論
 分離分析技術学特論 細胞性免疫検査技術学実習 輸血検査学 臓器移植検査学特論 脂質検査学実習
 酵素検査学実習 機器分析学 健康食品学 薬理・栄養検査学 血液検査学実習Ⅱ 分子血液学
 病理組織検査学実習 病理細胞診検査学実習 超微形態学特論 免疫化学細胞学 臨地実習 セミナール

二年次

病理病態学Ⅰ 臨床医学総論 生理機能検査学 呼吸機能検査学実習
 循環機能検査学 循環機能検査学実習 医用電子工学 遺伝子検査学 病原体検査学
 細菌検査学実習 寄生虫検査学 免疫検査学 体液性免疫検査技術学実習 病態化学検査学
 定性検査学 血液検査学 血液検査学実習Ⅰ 病理検査学

一年次

健康科学概論 公衆衛生学 医療社会学
 保健・医療・福祉政策論 国際医療協力論
 リハビリテーション概論 生化学 栄養学 病理病態学Ⅰ
 微生物と感染 遺伝と病気 臨床心理学 生理学
 組織学 系統解剖学 組織学実習 生理学実習
 検査情報の処理と管理 臨床検査総論Ⅰ(見学と実習を含む)
 臨床化学分析学

基礎科学科目

- ・力学 ・電磁気学
- ・一般化学Ⅰ ・一般化学Ⅱ
- ・生物学A
- ・環境マインド ・外国語
- ・教養 ・健康科学

学士としての基礎的素養
(環境、教養、外国語など)

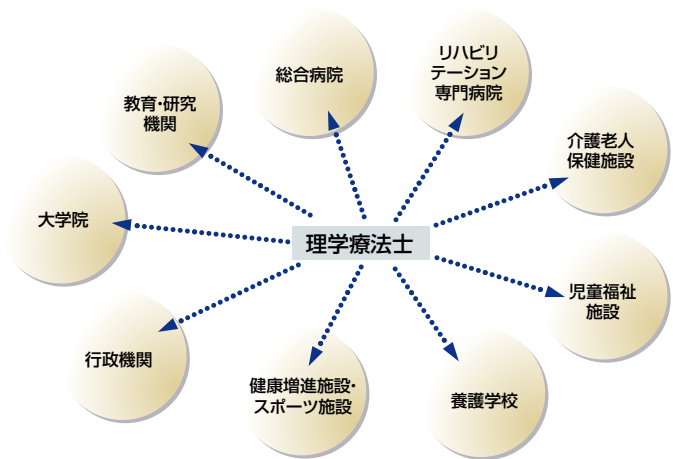
新入生ゼミナール

理学療法学専攻

理学療法とは、身体の構造やしくみの障害、活動能力低下による日常生活の支障やその恐れが有る方を治療するリハビリテーション医学の専門分野のひとつです。具体的には、温熱・水・電気などの物理的刺激により痛みの軽減、循環の改善、柔軟性の改善などを行う物理療法、種々の運動を行い関節の動き、筋力、協調性、全身持久力などの回復を図る運動療法、装具や義足などを用いて身体機能・構造を代償する装具療法があり、日常生活の練習や住宅改修などの環境整備も行います。近年、理学療法は病院での治療のみならず、在宅・地域における障害者や高齢者の生活機能維持・改善や健常者の疾病予防にも重要な役割を果たすようになりました。本専攻では、在宅理学療法など地域社会における活動や生活習慣病予防に関する内容を充実させ、スポーツ理学療法に関する講義・演習にも力を入れています。また、早期の臨床体験や医学科や他専攻学生との合同授業、地域の施設との連携による多彩

な臨地実習の設定など、新しい教育システムの構築にも努めています。

卒業後の進路



専攻履修チャート

医学部・理学療法学専攻履修チャート

※赤字は必修科目

- ①生命の尊厳と全人的な理解に基づく健康支援
- ②科学的根拠に基づく保健・医療に関する理解
- ③保健・医療の専門職者としての基本的知識・技術とその応用
- ④チームにおいて協働する能力
- ⑤国際的視野に基づく保健・医療活動
- ⑥学際的な視野に基づく探求心と問題解決能力



卒業研究



三・
四年次

<理学療法の専門的知識・技術・態度の習得>

医療社会学 保健・医療・福祉政策論 生命倫理学 救命蘇生学演習 チーム医療演習 理学療法研究法
臨床推論演習 臨床能力演習 臨床物理療法Ⅱ 徒手療法基礎論 義肢学 装具学
運動器疾患の理学療法(含む演習) 神経疾患の理学療法(含む演習) 内部障害の理学療法(含む演習)
小児系の理学療法(含む演習) 理学療法治療法実習 スポーツと理学療法 地域理学療法 臨床基礎実習
臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

二
年次

<臨床医学と理学療法の専門的知識・技術の習得>

臨床医学概論 内科学 整形外科学 精神医学Ⅰ 小児科学 臨床神経学 高次脳機能障害学
運動学実習 理学療法基礎生理学 運動学習理論 理学療法評価法Ⅰ 理学療法評価法Ⅱ
理学療法評価法実習 臨床物理療法Ⅰ 理学療法治療法 日常生活活動

一
年次

<基礎医学と理学療法の基礎に関する知識の習得>

健康科学概論 公衆衛生学 国際医療協力論
リハビリテーション概論 生化学 栄養学 病理病態学Ⅰ
微生物と感染 遺伝と病気 臨床心理学 生理学 生理学実習
組織学 系統解剖学 中枢神経解剖学 肉眼解剖学実習 運動学
人間発達学 理学療法概論 運動療法基礎論 物理療法基礎論

基礎科学科目
・力学

・環境マインド
・外国語
・教養 ・健康科学

学士としての基礎的素養
(環境、教養、外国語など)

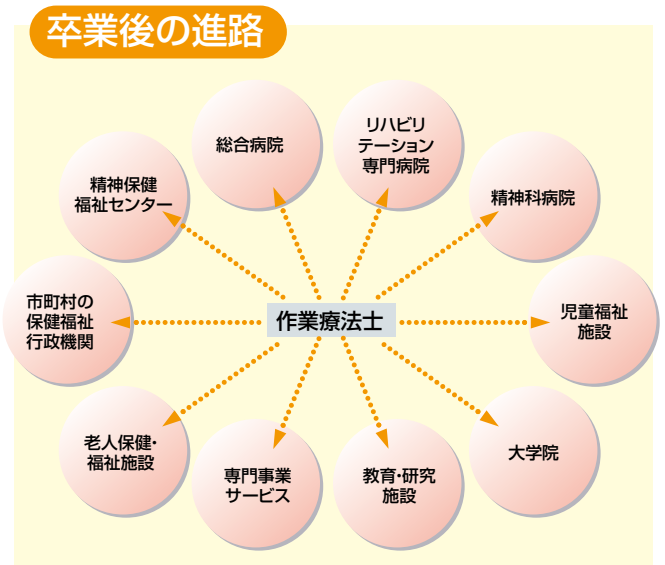
新入生ゼミナール

作業療法学専攻

作業療法 (Occupational Therapy: OT) は、身体又は精神に障害を持つ人に対し、食事、入浴、排泄などの基本的な生活活動や、仕事、教育、遊びなどの作業活動を効果的に利用し、機能回復と維持、残された機能や潜在的能力の開発、社会 (職場) 適応を目指す治療法です。専門領域は身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害に大別されます。早期退院と地域リハビリテーションが推進されつつある我が国において、ますます需要が高まりつつある医療専門職種です。疾患や障害を持つ人々の急性期から社会復帰までの過程に応じた作業療法学理論や方法を学び、高度専門知識や技術により、対象者の生活支援に貢献する人間性豊かで質の高い臨床家・研究者・教育者の育成を目指しています。教養・基礎教育と、解剖・生理・病理学をはじめとする基礎医学、より専門的な運動学、リハビリテーション医学、精神医学、臨床医学を学びます。

専門科目は附属病院等の実習と並行して行い、最終

年度の総合実習を通し、機能障害や社会適応能力の評価・援助技法などを臨床現場で具体的に学びます。



専攻履修チャート

医学部・作業療法学専攻履修チャート

※赤字は必修科目

- ①生命の尊厳と全人的な理解に基づく健康支援
- ②科学的根拠に基づく保健・医療に関する理解
- ③保健・医療の専門職者としての基本的知識・技術とその応用
- ④チームにおいて協働する能力
- ⑤国際的視野に基づく保健・医療活動
- ⑥学際的な視野に基づく探求心と問題解決能力

卒業研究

三・四年次

医療社会学 保健・医療・福祉政策論 生命倫理学 救命蘇生学演習 チーム医療演習 作業療法管理
 作業療法研究法 作業療法評価学実習 身体障害作業治療学Ⅱ 身体障害作業治療学特論
 精神障害作業治療学Ⅱ 精神障害作業治療学特論 発達障害作業治療学Ⅱ 発達障害作業治療学特論
 認知障害治療学Ⅰ 認知障害治療学Ⅱ 老年期作業療法学Ⅱ 日常生活支援論演習 義肢装具学
 事例研究法演習 生活支援機器論 社会生活自立支援論 地域作業療法学 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ

二年次

臨床医学概論 内科学 整形外科学 精神医学Ⅰ 小児科学 臨床神経学 高次脳機能障害学
 作業解析学実習 身体障害評価学実習 精神障害評価学実習 発達障害評価学実習 精神医学Ⅱ
 身体障害作業治療学Ⅰ 精神障害作業治療学Ⅰ 発達障害作業治療学Ⅰ 老年期作業療法学Ⅰ
 日常生活支援論 余暇活動実践論実習 高齢者リハビリテーション概論

一年次

健康科学概論 公衆衛生学 国際医療協力論 リハビリテーション概論
 生化学 栄養学 病理病態学Ⅰ 微生物と感染 遺伝と病気
 臨床心理学 生理学 生理学実習 組織学 系統解剖学
 中枢神経解剖学 肉眼解剖学実習 運動学 人間発達学
 作業療法概論 基礎作業学 基礎作業学実習 作業療法見学実習

基礎科学科目
・力学

・環境マインド ・外国語
・教養 ・健康科学

学士としての基礎的素養
(環境、教養、外国語など)

新入生ゼミナール



「出会いと関わり」

保健学科
看護学専攻 4年
森本 奈々恵

出身校：長野県松本蟻ヶ崎高等学校

看護を行う上で、幅広い知識と確かな技術は非常に大切です。一口に看護学と言っても分野は様々ありますが、保健学科看護学専攻ではその分野を専門とする先生方がおり、それぞれの分野について講義を通して深く学ぶことが出来ます。先生方は私たち学生に真摯に向き合って、根気強く丁寧に教えてくださり、先生方のその情熱が私たちの力になっていると感じます。看護技術の獲得のための演習では、同じ看護職を目指すたくさんの仲間と共に互いに刺激し合って高め合いながら学んでいます。演習を通して、自分が患者さんのために出来るが増えるのは本当に嬉しいです。

病院や様々な施設などで実習をさせていただくこともありますが、実際にそういった施設で実習することで、それまで学んできた知識や技術を自分のものとして、さらに理解を深めることが出来ます。また、自分の目指す看護師に一步步近づいていると感じることが出来ます。看護学専攻では、看護師だけでなく、保健師・助産師免許の取得のための勉強をすることもでき、非常に恵まれている環境であると思います。

信州大学で夢に向かって共に学べることを楽しみにしています。



充実した学びの日々

保健学科
検査技術科学専攻 3年
山口 拓也
出身校：山梨県立甲府南高校

私は以前から人の命に関わる職業に就きたいと考えていました。そこで医療系の仕事について調べるうちに臨床検査技師という職業の存在を知り、医師や看護師といった職業とは異なった側面から患者さんと関わることができるところに強い魅力を感じ、検査技術科学専攻へ入学することを決めました。

検査技術科学専攻では講義、実習を通して様々なことを学ぶこととなります。講義では医学の基礎となることからさまざまな検査法やその原理について、実習では講義で学んだことから検査に利用する種々の機器の使用法、教科書や参考書では教えてくれないような基本的なことまで、各分野についての専門家であられる先生方が丁寧にそして熱心に指導してくれます。そして、このような講義や実習の中で同じ臨床検査技師を目指す仲間たちとともに学び、協力し合い、時には意見をぶつけ合うことで切磋琢磨することができます。

勉強やアルバイト、サークル活動などの両立はなかなか大変なことですが、きっと充実した生活を送れることでしょう。臨床検査技師という同じ目標を目指すみなさんのご入学を心よりお待ちしております。



学生の声



新たな発見と 成長の毎日

保健学科
理学療法学専攻 4年
川越 美嶺
出身校:私立日本大学藤沢高等学校

私は将来、人と関わる職業に就きたいと思い、その一つの手段として「理学療法士」になろうと考えていました。他学部と違い、受験前から専門職として将来が決まってしまうように感じ、とても不安でした。

理学療法士を目指す皆さんの中にも、医療、スポーツ、福祉など働きたい分野はそれぞれにあると思います。信州大学では各分野でのスペシャリストである先生方から実践的な指導を受け、また座学で知識を身につけ、各々の夢を持った仲間と切磋琢磨しながら将来に向けて学んでいく素晴らしい環境があります。例えば、実技テストや実習の前には学校に籠もりペアになって実践の練習をする姿も見られます。グループワークでは仲間と共に意見を出し合い、本や文献を調べ、プレゼンを夜遅くまで何日もかかって作り、発表後には他グループと討論を行います。

授業、実習、研究、国家試験など勉強は大変ですが、とてもやりがいがあり、充実した学生生活になると思います。まだまだ分からないことばかりですが、この分野に携わることができることを、とても誇りに思っています。皆さんのご入学を心よりお待ちしております。



仲間とともに学ぶ

保健学科
作業療法学専攻 4年
佐藤 和哉
出身校:岐阜県立加茂高等学校

私が保健学科に入学した理由は、リハビリテーションの仕事に興味があり、それに携わる職業に就きたいと思ったのがきっかけです。そこから遊びや活動を通して治療を行う作業療法士という職業を知り、もっとこの職業について知りたい、なってみたいと思い、作業療法士を目指すことを決意しました。

入学した際は作業療法士という職業について曖昧なイメージしか持てませんでした。今は、たくさんのことを学ぶなかで、まだ明確ではありませんが、少しずつ作業療法士という職業について自分なりのイメージが持ててきたかなと思います。毎日の勉強は楽ではありませんが、同じ専攻、他専攻の先輩や同級生、後輩達と関わることで、いろいろな考え方や経験を聞くことができたり、勉強をすればするほどもっといろいろなことを知りたいと思えるなど、毎日とはとても充実しています。

勉強を重ねるたび、新たなことを知る楽しみを得たり、自分の課題が見えてくるなど、自分が求めることに限界のない学問だと僕は考えています。

共に作業療法士を目指す仲間として、みなさんと出会えることを楽しみにしています。



入試について

※下記に記載の内容については、医学部保健学科の平成28年度入学試験についてのものです。また、詳細については、必ず各学生募集要項等でご確認ください。

募集人員

学 科 等	一般入試		特別選抜		計 (入学定員)	
	前期日程	後期日程	推 薦	社会人		
保 健 学 科	看護学専攻	50	10	10	70	
	検査技術科学専攻	23	9	5	37	
	理学療法学専攻	15	3		若干人	18
	作業療法学専攻	15	3		若干人	18
	第3年次編入学					
	看護学専攻			10		10
	検査技術科学専攻			3		3
	理学療法学専攻			2		2
作業療法学専攻			2		2	

一般入試の実施教科・科目等 (学生募集要項は、11月中旬発表)

学 科 等	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教科等	個別学力検査等 科目名等
		教科	科目名等		
保 健 学 科	前期日程	国 語	国語	数 学	数学I・数学II 数学 A・数学 B
		地理歴史・公民	世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政経 倫理・政経		
	後期日程	数 学	数学I・数学A 数学II・数学B、簿記・情報、○工 から1科目	その他	面接
		理 科	物理・化学・生物から2科目		
		外国語	英語		
(5教科7科目)					

【旧教育課程履修者に対する経過措置】

- (1) **「旧教育課程履修者」とは**、以下のa,b以外の方とします。
 - 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者
 - 中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
- (2) 大学入試センター試験の◎印の科目(工業数理基礎)は経過措置の科目で、旧教育課程履修者のみ選択解答することができます。
- (3) 個別学力検査等では、旧教育課程履修者に対する経過措置は講じません。

推薦入試 (学生募集要項は、7月中旬発表)

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学力・人物に優れ、次の要件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる方とします。

- 1) 高等学校を平成28年3月卒業見込みの方
- 2) 全体の評定平均値4.0以上の方

社会人入試 (学生募集要項は、7月下旬発表)

高等学校を卒業した方等で、21歳に達した方及び平成28年3月31日までに21歳に達する方、かつ、社会人経験を有する方とします。

第3年次編入学 (学生募集要項は、7月上旬発表)

次のいずれかに該当する方とします。

- 1) 大学又は短期大学において看護関係学科、衛生技術関係学科、理学療法又は作業療法の関係学科を卒業した方
又は平成28年3月卒業見込みの方
- 2) 専修学校専門課程において看護関係学科、衛生技術関係学科、理学療法又は作業療法の関係学科を修了した方
又は平成28年3月修了見込みの方

入学者選抜試験実施状況

専攻	入試種別	定員	平成27年度			平成26年度			平成25年度			平成24年度		
			志願者数		入学者数	志願者数		入学者数	志願者数		入学者数	志願者数		入学者数
			人数	倍率		人数	倍率		人数	倍率		人数	倍率	
看護学専攻	前期	50	266	5.3	43	167	3.3	45	219	4.4	49	203	4.1	54
	後期	10	185	18.5	17	85	8.5	15	78	7.8	11	102	10.2	9
	推薦	10	36	3.6	10	35	3.5	10	40	4.0	10	30	3.0	10
	計	70	487	7.0	70	287	4.1	70	337	4.8	70	335	4.8	73
検査技術科学専攻	前期	23	135	5.9	23	156	6.8	25	182	7.9	25	170	7.4	26
	後期	9	82	9.1	10	66	7.3	7	83	9.2	7	98	10.9	8
	推薦	5	48	9.6	5	51	10.2	5	38	7.6	5	53	10.6	5
	計	37	265	7.2	38	273	7.0	37	303	8.2	37	321	8.7	39
理学療法学専攻	前期	15	74	4.9	15	83	5.5	17	86	5.7	17	75	5.0	15
	後期	3	21	7.0	4	41	13.7	3	73	24.3	4	47	15.7	3
	社会人	若干人	4	-	0	3	-	0	7	-	0	9	-	1
	計	18	99	5.5	19	127	7.1	20	166	9.2	21	131	7.3	19
作業療法学専攻	前期	15	62	4.1	14	40	2.7	16	88	5.9	15	55	3.7	15
	後期	3	33	11.0	4	33	11.0	2	32	10.7	3	36	12.0	4
	社会人	若干人	0	-	0	9	-	1	5	-	1	5	-	1
	計	18	95	5.3	18	82	4.6	19	125	6.9	19	96	5.3	20
計	前期	103	537	5.2	95	446	4.3	103	575	5.6	106	503	4.9	110
	後期	25	321	12.8	35	225	9.0	27	266	10.6	25	283	11.3	24
	推薦	15	84	5.6	15	86	5.7	15	78	5.2	15	83	5.5	15
	社会人	若干人	4	-	0	12	-	1	12	-	1	14	-	2
合計		143	946	6.6	145	769	5.4	146	931	6.5	147	883	6.2	151

第3年次編入学	17	33	1.9	10	39	2.3	11	35	2.1	11	30	1.8	10
---------	----	----	-----	----	----	-----	----	----	-----	----	----	-----	----

【募集要項の請求】

信州大学案内・入学者選抜要項・一般入試学生募集要項の請求先

信州大学入試課 TEL 0263-37-3450

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)

推薦入試学生募集要項・社会人入試学生募集要項

第3年次編入学学生募集要項の請求及び保健学科入試に関する問い合わせ先

信州大学医学部保健学科 入試事務室 TEL 0263-37-2357,2356

(土曜日・日曜日、祝日及び休日は、取り扱いません。電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。)

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/prospective/>)

医学部役職員(平成27年6月11日現在)

医学部長	池田 修一	Shu-ichi Ikeda
附属図書館医学部図書館長	田中 榮司	Eiji Tanaka
医学系研究科長	池田 修一	Shu-ichi Ikeda
評議員	角谷 眞澄	Masumi Kadoya
評議員	金井 誠	Makoto Kanai
副学部長	田中 榮司	Eiji Tanaka
副学部長	中山 淳	Jun Nakayama
副学部長	木村 貞治	Teiji Kimura
副学部長	藤本 圭作	Keisaku Fujimoto

事務部長	倉石 直久	Naohisa Kuraishi
副学部長(事務担当)		
学部長補佐	樋口 京一	Keiichi Higuchi
学部長補佐	田淵 克彦	Katsuhiko Tabuchi
医学科長	池田 修一	Shu-ichi Ikeda
保健学科長	金井 誠	Makoto Kanai

学生数(平成27年5月1日現在)

区 分	医学科		保健学科	
	定 員	現 員	定 員	現 員
1年次	120	129	143	155
2年次	120	130	143	153
3年次	120	122	160	163
4年次	115	121	160	158
5年次	115	102		
6年次	113	119		
計	703	723	606	629

職員数(平成27年5月1日現在)

区 分	医学系研究科	医学部		
		医学科	保健学科	
教 員	教授	5	37	26
	准教授	3	28	11
	講師	0	8	6
	助教	5	71	15
	助手	0	3	2
	計	13	147	60
事務系職員		32		
技術職員		5		
合 計		257		

松本においでよ!



松本城天守閣



中町通り



大名町

信州大学医学部は、長野県のほぼ中央部の松本に存在します。松本は、近代的な装いの中にも古い城下町の風情を漂わせた街です。松本は平安時代後期に信濃国府が設けられた地であり、16世紀末には国宝松本城が築城され城下町として栄え、今日の都市形成の礎を築きました。信濃国の商都として栄えてきた松本は、現在も長野県の商業の中心地としての役割を担っています。松本は、3つのガク都(岳都, 学都, 楽都)としての顔を持っています。

1. 岳都

松本は山岳都市です。松本の西には、安曇野をはさんで美しい北アルプスの峰々を、東には美ヶ原高原を望めます。近代登山の黎明期には、松本を出発点に多くの人々が北アルプスの頂をめざしました。今も、北アルプスの玄関口として、毎年多くの登山客やスキー客を迎えています。また街や郊外の随所に湧き出す温泉を楽しむこともできます。



上高地



旧開智小学校

2. 学都

松本は教育が盛んな街で、明治の学制発布前から学校の設立を積極的に進めました。明治5年には藩主の菩提寺だった全久院を校舎として筑摩県学校が、翌年には町民の寄付により開智学校が開校しました。その校風が、旧制松本高等学校、さらには今日の信州大学へとつながっています。

3. 楽都

松本は音楽の街です。松本では、毎年8月末から9月末にかけて、小澤征爾氏らのもと「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」が開かれ、世界最高峰の音楽を楽しむことができます。また松本市には、音楽文化ホール、長野県松本文化会館、まつもと市民芸術館など、音楽に適したコンサートホールが備わっています。



セイジ・オザワ 松本フェスティバル
提供：サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会
撮影：大窪道治

このような自然と文化の豊かな松本で、勉強だけではなく、芸術やスポーツにも挑戦してみませんか？

信州大学 医学部

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
TEL:0263-35-4600 (代表)

e-mail igakubu@shinshu-u.ac.jp
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>
編集 信州大学医学部広報室

